

福祉学習を開催しました

令和5年7月7日
仙台市若林障害者福祉センター

去る令和5年7月5日（水）、仙台市立沖野小学校体育館にて福祉学習を開催しました。今回は沖野小学校4年生76名の児童の皆様へ、車いす体験・仙台市障害者相談員（2名）をお招きして、実体験など様々なお話をさせていただきました。

体験後に感想を聞いてみると「“障害”は目に見えて分かるものだけではないということが分かりました」「街中で困っている方がいたら声をかけたいです」などの感想が聞かれました。

また、質問コーナーでは「今の生活で楽しいことは何ですか？」「（講師の1人が咽頭摘出により、人工喉頭を喉に当てて話す様子を見て）喉に当てている機械を外したらどんな声が出るのですか」など、児童の視点から様々な質問がありました。児童たちは、車いすをご利用されている方や障害がある方の生活について、とても興味をもっており、真剣に話を聞いていました。

今後も、当センターで企画する福祉学習が、児童たちにとって障害理解促進の機会となるよう努めて参ります。

